

北陸先端科学技術大学院大学研究室教育指針
Laboratory Education Guideline

研究室教育指針は、学則第30条の3に基づき、研究指導の方法及び内容並びに修了までの研究指導の計画をあらかじめ明示するものです。
Based on the Article 30-3 of the general academic rules, the Laboratory Education Guideline is intended to clearly outline the methods and content of research guidance, as well as the plan for research guidance until completion.

氏名 / name : 長谷川 忍 役職 / official position : 教授

1. 研究テーマ / Research Theme
学習情報学の視点から「Learning 5.0」を実現するために、スキル学習支援・主体的学習支援・エデュテイメント・遠隔教育システム等を統合的に設計・開発・評価する。
2. 修得が期待される能力 / Competencies expected to be acquired 研究室教育は必修 A 科目（先端）又は研究支援科目（融合）の一部として単位化されており、この欄はそれら科目のシラバス上の達成目標の一部となります。 Laboratory Education is accredited as a part of the Required courses A (Division of Advanced Science and Technology) or Research Support Courses (Division of Transdisciplinary Sciences), and this section constitutes a part of the course goals stated in the syllabus for such subjects.
人の学習に関わるデータ・行動・環境を情報/知識科学的に分析し、学習を理解・支援・最適化するための理論と技術を探る学習情報学を基盤とし、人と AI が協働して自律的に最適な学びが実現できる「Learning 5.0」の理念に基づいた研究活動を通じて、学生が自律的かつ創造的に学び、研究者・実務者として成長することを目指す。 博士前期課程では、実践者としての基礎力として以下の能力の習得を期待する。 ・基礎知識：研究課題の設定、研究対象のモデル化、関連研究の調査方法を理解し、新たな情報技術を自らの研究に応用するための基礎知識を身につける。 ・研究遂行：研究計画の立案から、支援システムの設計・開発・評価・発表までの一連の研究プロセスを遂行できる技能を習得する。 ・主体的態度：研究活動を自身のキャリア形成と関連づけ、主体的に研究へ取り組む姿勢を育み、課題解決に向けて粘り強く行動する態度を身につける。 博士後期課程では、自立した研究者として活躍するため、以下の能力の獲得を目標とする。 ・理論構築：国際的な研究動向を把握するとともに、学習情報学の理論を批判的に再構築し、先端的な情報技術を深く理解することで、新たな研究枠組みを提示できる。 ・研究遂行：独自の研究課題を定義し、理論構築・モデル化・実証研究を主導する技能を身につけるとともに、国際会議や査読付き論文誌で成果を発信する。 ・研究倫理：学術的・社会的責任を自覚し、研究倫理を遵守しながら透明性・再現性の高い研究を実践する態度を確立する。
3. 研究指導方針 / Research Guiding Principle
人間の知的情報処理をより快適かつ効果的に支援する学習支援・情報環境の設計、開発、評価、運用、体系化を通じて、社会で求められるトランスファラブルスキルを育成することを目指す。研究活動のプロセスを重視し、ルーブリックによる自己達成度評価やマイルストーンごとの自己評価を取り入れることで、学生が自らの成長を客観的に把握し、主体的に学びを深化できる仕組みを整えている。また、ミーティングや議論の記録を蓄積し、研究活動をポートフォリオとして活用すること、学習過程の可視化と継続的な改善を促す。さらに、研究室運営に積極的に関わることにより、多様性を尊重し、協働的な研究環境を維持するためのコミュニケーションを重視する。
4. 研究室活動の内容及び方法 / Content and Methods of Laboratory Activities
<input type="checkbox"/> 日次活動 / Daily Activities : <input checked="" type="checkbox"/> 週次活動 / Weekly Activities : 研究室ミーティング(週 1 回, 日英別) <input type="checkbox"/> 月次活動 / Monthly Activities : <input checked="" type="checkbox"/> 不定期活動 / Occasional Activities : オリエンテーション, 個別ミーティング(リクエストに応じて), 季節ミーティング(3 か月に 1 回, 博士後期課程), 研究室合同ミーティング, 学会発表, 共同研究ミーティング

5. 年間スケジュール / Annual Schedule

本学の全学共通の年間スケジュールは「履修案内」の「学位取得に至るスケジュール」を参照してください。(本学HP参照：ホーム>教育>履修関係>履修案内)

Please refer to the “Degree conferment schedule for the master’s program/doctoral program” in the “Degree Completion Guide” for university-wide common schedule (JAIST website: Home >Education>Taking Courses>Degree Completion Guide)

- ・配属オリエンテーション(M1: 6月/12月, D1: 4月/10月)
- ・研究テーマ検討(M1: 8~10月)
- ・参考文献調査(M1: 11~12月, D1: 5~10月 システムティックレビュー)
- ・研究計画書準備(M1/D1: 1~3月)
- ・システム開発・評価(M2: 4~11月, D1: 11月~D2: 3月)
- ・中間発表準備(M2: 6~8月), 予備審査準備(D3: 8~11月)
- ・修士論文準備(M2:12~1月), 博士論文審査準備(D3: 12月~1月)
- ・研究会発表(M2: 1月 or 3月)/Learning Innovation Grad Prix 投稿(M2: 3月, D2: 3月)
- ・国際会議発表(D2: 11月他), ジャーナル投稿(D2: 3月他)